# マイノリティによる国家イデオロギーの内在化：日中における国語教育の比較

The Internalisation of State Ideologies by Minorities:
A Comparison of the National Language Education in China and Japan

M23海人1

派遣先　第20回世界社会学会議（オーストラリア・メルボルン）
期　間　2023年6月23日～2023年7月3日（11日間）
申請者　大阪大学　大学院人間科学研究科
博士後期課程2年　新　井　凜　子

## 海外における研究活動状況

### 研究目的

本研究は、中華人民共和国（以下、中国）の新疆ウイグル自治区におけるウイグル族に対する漢語教育（中国共通語教育）と、明治時代から第二次世界大戦終戦までの沖縄における国語教育（標準語教育）を比較することで、「国語」による国民統合という同化政策的な国家イデオロギーがいかにマイノリティの間で内在化されたか、一方でそれがどのように「中央」と「周縁」の間のしこりとなりうるかを明らかにすることを目的とする。

### 海外における研究活動報告

国際社会学会（ISA）は社会学分野における最大の国際組織であり、世界社会学会議（World Congress of Sociology）は世界各地の研究者が一堂に会する4年に一度の総大会である。第20回目となる今大会は、新型コロナウイルス感染症の影響で5年ぶりの開催となった。今大会のテーマはResurgent Authoritarianism: The Sociology of New Entanglements of Religions, Politics, and Economies（よみがえる権威主義：宗教、政治、経済の新たな関わりに対する社会学）であり、昨今の国際情勢を反映したテーマ設定となっている。今大会には100か国以上から対面・オンラインあわせて4701人が参加し、社会学が対象とする多種多様なテーマについて活発な議論が交わされた。

ISAには研究分野・テーマごとのリサーチコミッティ（RC）、ワーキンググループ（WG）、テーマ別グループ（TG）があり、それぞれが各セッションを運営している。私はRC20「Comparative Sociology（比較社会学）」による「Current Research in Comparative Sociology（比較社会学における最近の研究）」のセッションにて、単独著者として口頭発表を行った。当セッションではほかに、アメリカ、ポーランド、スペイン、香港の研究機関に所属する研究者から報告があった。各発表の後に質疑応答の時間があり、私の報告に対しては3つほど質問があったほか、全発表終了後にはフロア全体で議論が交わされた。

自身の報告は、ウイグル族と中国政府との摩擦の根底要因のひとつである言語教育に着目し、現在の不和の原因を紐解くことを試みたものである。さらに、新疆で行われているトッ

プダウン型の共通語教育を19世紀末より実施してきた日本の沖縄と比較することで、新疆における摩擦の今後の行く末を示唆することも試みた。この日中比較を通じて、両地域における国語教育は2つの方向から促進されたことが明らかとなった。すなわち、国家によるトップダウンの推進がある一方で、マイノリティが自ら学ぼうとするボトムアップの傾向の双方が見られるのである。しかし、こうしたマイノリティ側からの歩み寄りは、彼らを取り巻く政治的・社会的・経済的状況が、国家の言説と一致しないとき、不満や抵抗へと変化する。標準語を学んでも差別と貧困に直面し、さらに沖縄戦と続く米軍占領を経て、「周縁」としての沖縄と「中央」の間に、そして人々の感情面で今日まで禍根が残っている。自身の発表では、新疆においても、今後同様に人々の間に不和が長く残ることが懸念されると報告した。

本セッションの報告はすべて比較研究の手法を用いた研究である。ひとえに比較といっても、国勢調査など大規模な統計データを扱うものから、政策の比較、制度の比較、言語文化の比較など、実際に比較している対象は異なる。しかし、比較することで類似点、相違点を見出し、なぜこのような類似・差異があるのか考察することの重要性は、本セッション参加者間の共通認識として改めて確認された。

この度の研究発表を通じて、様々な背景を持った研究者たちから自身の研究へのフィードバックを受け、意見交換を行うことができた。これにより今後より一層深みのある研究が可能となった。これは「研究者海外派遣援助」による支援があったからこそであり、村田学術振興財団に心より感謝申し上げる。

**この派遣の研究成果等を発表した**
**著書、論文、報告書の書名・講演題目**

［論文］

ARAI Rinko（2023）「A Comparative Study of the Nation-building and the National Language Education in Xinjiang and Okinawa」『21世紀東アジア社会学』第12号, pp.58-75

［口頭発表］

ARAI Rinko「The Internalisation of State Ideologies by Minorities: A Comparison of the National Language Education in China and Japan」XX ISA World Congress of Sociology, メルボルン, 2023年6月26日